

第49回

奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会

日 時：平成24年11月15日（木）

午後6：00～

場 所：奈良市役所北棟6階第22会議室

次 第

開 会

1. 議 事

- (1) 第48回策定委員会議事録概要版の確認
- (2) 施設整備のあり方について
- (3) その他

閉 会

(事前配布資料一覧)

資料 9 5 第 4 8 回策定委員会開催概要及び議事録概要版 (案)

第49回策定委員会開催概要及び議事録概要版

件名	第49回 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会	
日時	平成24年11月15日（木） 18：00～20：00	
場所	市庁舎北棟6階 第22会議室	
出席者	委員	今井範子、片山信行、木内喜久子、日下穰、國領弘治、阪本昌彦、佐藤真理、高杉美根子、竹村健、田中幹夫、田中啓義、古海忍、元島満義、森住明弘、三浦教次、山口裕司、吉岡正志、吉田隆一、渡邊信久 (安田美紗子委員は欠席)
	事務局	吉住部長、阪口参事、高橋課長、村田課長、美馬主幹、井谷主任、田中主務
	コンサル	堀 善雄
開催形態	公開	
記録作成者	奈良市施設課	
配布資料	資料95 第48回策定委員会開催概要及び議事録概要版（案）	
会 議 内 容		
<p>開 会</p> <p>部長挨拶</p> <p>1. 議 事</p> <p>(1) 第48回策定委員会議事録概要版の確認</p> <p>(2) 施設整備のあり方について</p> <p>(3) その他</p> <p>閉 会</p>		

議 事 要 約 内 容	
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> ● 定刻になりましたので始めさせていただきます。 今回は奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会の第49回目の会合です。 委員会の開会に先立ちまして、吉住環境部長よりごあいさつ申し上げます。
吉住部長	[部長挨拶]
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> ● 本日の出席状況。委員総数20名のうち16名ご出席いただいています。従いまして本日の委員会は成立しておりますことをご報告します。 早速議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては渡邊委員長にお願いいたします。
渡邊委員長	1. 議 事
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> ● 第49回奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会を開催いたします。本日の資料確認をお願いします。
渡邊委員長	[資料確認]
事務局（美馬）	(1) 議事録概要版の確認
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 議事録概要版ではありますが、事務局には何か訂正は入っているでしょうか？
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在のところ訂正は入ってございません。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 皆様、何かお気づきのことがありましたら、この会議の終わりまでにご発言をいただきますと、議事録を訂正することはできますので、会議が終わりましたら自動的に承認という形にさせてもらいたいと思います。
渡邊委員長	(2) 施設整備のあり方について
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> ● 10月20日に開催されました東部地域での報告会について概要の説明を受けたいと思います。これに先立ちまして、10月20日のこの時間ちょうど私、自分の所属の大学の入学試験の面接をしております。私は出席できず、非常に申し訳なく思っております。状況について報告いただき、今後の進展について議論していこうと思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 最初は事務的なことですね。何日にどこで行われて時間は何時で人数は何人くらいでという話だと思うので、よろしくをお願いします。
事務局（阪口）	[東部地域報告会当日の状況報告]
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● NO_xとかSO_xということはおっしゃらずに熱のことを話された方がいらっしやっただけですね。それから現在の左京地区の建替えに関することや、委員会として、その場所をなぜ選んだのかということに対して質問があったわけですが、公害調停という法律に基づく手続きを踏んでおり、場所の選定についても条件を決めて探していたところ、⑥-1と⑥-2になったという返事をしたということだと思います。

田中副委員長	<p>田中副委員長、補足されること、報告ありましたらお願いします。</p> <p>● 事務局の方から説明があったとおりですし、全体的な質疑応答の内容についても、まず間違いなかろうかと思えます。</p> <p>全体の雰囲気としては、糾弾会的な非常に厳しい意見が出ました。ただ、その中で、いろいろな意見があって、例えばどこかに作らなければいけないということはわかっているんだという言葉を書いていただいた方もいらっしゃいました。反対に関しては、道路の件については、やはり4車線化ということで意見が大きかったです。奈良市の方も、木津に抜ける道ができることや、中継ということも考えられるという前向きな、建設的な計画の話をし、4車線はできないということははっきりとその場で説明しましたので、どこかで決着がつけられるのを模索すべきであると思いました。</p> <p>環境問題についても環境アセス、あるいはアセスの前の調査によってご理解いただけたと思いました。必ず道が開けると私は感想を持ちました。</p> <p>成果ですが、理解を必ずしていただけるだろうと感じ、それに向けて、相当な努力は必要であり、今後の東部の方々に対する奈良市の可能な限りの施策を提案していく。策定委員会と市長が同じ立場で、向かう姿勢ができた。市長が本気になられたという印象をもちました。</p> <p>今後の課題ですが、今後東部の方にご理解いただくため、一つは道路問題、もう一つは地域振興です。道路については可能な限り、今より良くなれば、プラスだから。そういったことを目指して調整していく。それともう一つは、道路以外の地域振興にもシフトして、そこで東部の方もメリットを享受できる。奈良市もそういったものを、これから進めていく必要があるということ、今後の課題として感じました。道路問題にしても、環境問題にしても、地域振興にしても、候補地があまりにも広いです。⑥-1か⑥-2に絞る以上に、⑥-1ならここ、⑥-2ならここと、現実にクリーンセンターができるのはこの位置だと。この周りにこんな緑の地帯ができ、地域振興の施設ができるとか、具体的に提示する必要がある。そうすることによって抽象論での、賛成か反対かではなく、具体論としてディスカッションできると思うので、絞りこむという作業が必要だということ強く認識しました。</p>
渡邊委員長	<p>● 絞りこみということをおっしゃいましたが、⑥-1、⑥-2ということで、市の方は何も、決めてない状態で持っていつていると思えますが、今回、報告会に行った段階で⑥-1、⑥-2ということで何かコメントされましたか？</p>
事務局（村田） 渡邊委員長	<p>● 市としては具体的には出しておりません。</p> <p>● 全面的な4車線化はできないというお話を市長がした段階で、会場の雰囲気はどうでしたか？</p>
吉住部長	<p>● 途中退席の方はほとんどおられなく、3時間近く報告会させていただきましたが、最後まで住民の方は残っていただき意見を聞いていただきました。</p>
渡邊委員長	<p>● 現地建替えの話も出ていましたね。左京地区の方は参加されていませんか？</p>

事務局（阪口）	<ul style="list-style-type: none"> ● 中に入っていたときに住所と名前は書いていただきましたが、左京地域の方は入っておられません。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 私がお尋ねしたのは、必ず市のあちこちの地域から現地建て替えの話が出てきます。それに対して単に委員会がつっぱねるだけでは、話がうまくいかないだろうと思っており、その場でもしも何かやりとりがあったら、お聞きしたいと思ったんです。今回は無かったということですね。皆様からご質問等、ご発言いただけたらうれしいかと思いますが、いかがでしょうか。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 説明いただきましたが、概要ですので、要約の仕方がまずいと感じられる方、必ずおられます。発言された方が、そういうまとめ方でいいかどうかというのはもめますから、これを送られて、ご意見があったら下さいと、是非やっておいたほうがいいと思います。 <p>道路問題については、ある程度理解された方もおられれば、なかなか理解進まない方もおられましたが、これも仕方ない話です。疑問を持たれる方と、なるべく直接話しをする機会を設けない限り、認識がずれたままになりますから、何とかこの方たちを中心にした話し合いができる場を、皆で考えたほうがいいと思います。具体的な会合を、今後計画していったほうが、特に発言された方と理解が深まると思います。</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 実際発言された内容を記録して、概要を作って報告したとしても、それが発言された方の本意に必ずしもそぐわないで軋轢を生む原因になるので、そうならないように、発言された方、あるいはその場におられた方に対しても、内容に誤りがないかとかいうことを、確認したらどうかという。それをするによって初めて対話になるというご意見だと思います。 <p>事務局的には概要ご説明されましたが、そういう作業はできますよね？</p>
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> ● 東部地区自治連合協議会の会長さんも、ほとんど来ていただきましたことから、また改めましてお会いして、これの取り扱いについて、ご相談させていただいた上で、できる限り、森住委員言われたような対応をさせていただきたいと思っております。
渡邊委員長 佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● わかりました。よろしくお願いします。 ● 私は説明会の概要を、住民に出すのはどうかと思います。表現が適切でなかったとか、訂正を求めることになったら、かえってややこしくなりはしないのかなという懸念があります。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 感情がともなった言葉を、的確に、私も含めて表現出来ませんから、ほっておきますと、私こんなこと言ってないのに、向こうの都合のいいようにまとめたとなります。どういう表現が相手にどういう影響を与えたかということ、私たちが考える必要があるから言っているんです。ややこしくなるから反対という論理はまずいと思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回初めてですので、ちょっと、ばか丁寧かもしれませんが、書面で誤解ないかと、お尋ねするのはそんなに失礼じゃないと思います。ただ、毎回毎

佐藤委員 森住委員	<p>回同じことを繰り返すようだと、逆にうっとうしがられますが。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 私は概要でいいと思います。森住委員は全部反訳で出せということでしょ。 ● 違います。概要でいいです。概要にまとめるときに認識のずれが埋まり難いと言ってるんです。非常に強い違和感を感じられるとまずいでしょ。この程度ならいいと向こうが思ってくれたらそれで、溝が埋まりますから。
元島委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 発言してくれた人、自治会の関係の人と、賛成・反対は別にしまして、積極的な意向で立ち向かっていこうという人を取り込むと言ったら語弊がありますが、住民の、多分代表の意見になると思いますので、最初の取っ掛かりですから、間違いないでしょうかというぐらいしておかないと。この資料の扱い方のことまで疑心暗鬼に思われたら困りますから、取っ掛かりに利用して、次のステップでその人たちを巻き込んで話をするという手法はいかがでしょうか？
渡邊委員長 田中（幹）委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 成立させるためのプロセスとして有効だろうというお話ですね。 ● 森住委員が言われたようなことを、別に悪いことじゃないと思いますが、委員会で議論してどうしますか？
渡邊委員長 田中（幹）委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 誤解がないように手続きを踏むということはお願いしたいと思います。 ● そういうことまでやらなくても。僕は佐藤委員の最初の意見に賛成です。
渡邊委員長 吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎回毎回はうっとうしがられますから、程度をわきまえてと思っています。 ● 農繁期が過ぎたとは言え、お忙しい方が120名も3時間お集まりいただいたというのが、連合会長が、随分水面下でご苦労なさったんじゃないかと。コミュニティが存在しているなどと思っていますので、そのへん踏まえて、今後話しをどうするか考えていかないとと思うんです。抽象論が多いから、具体的にいろいろさせていただこうとすると、視点を一つに絞る、どこに造るといってもしないといけないし、それを考えて造ると、風洞実験をやって拡散が煙突がどうなるというのもわかってくるので、そういうことを地道にやっていく必要があるなど。もう一つは1,350台増えるし、ますます渋滞するという心配を皆さん、されていますので、中継基地を造ります。例えばそういうことを、我々検討して、市民の持ち込みの車や、パッカー車の台数を減らす。そのためにどうしたらいいのかということも考えてね、次の策を練っていかないとダメかなと。でないと、私はせっかく開けに行ったら扉がまた閉まってしまうという可能性があると心配しています。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回120名集まって3時間です。すごい関心は高かったですが、次話をしに行くとなると、小出しではなく、しっかりと計画を作って、持っていくべきではないかとそういったご発言です。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 120名も集まって、3時間という長時間に渡って、議論がなされたというのは、画期的なことで、非常に大きなものだなと思いますが、それを大事にしていきたいというのが森住先生のご意見であり、委員長の意見だったと思います。取り扱いは、奈良市が住民にしているわけですから、話しの中身の取りまとめ方は、市が考えた方がいいことで、やや踏み込んで、言い過ぎたと思います。ただ、

<p>渡邊委員長</p> <p>森住委員</p>	<p>その中で具体的な計画の内容が示されていないというご指摘は重視して、早く、詰めていく必要があるかと。</p> <p>それともう一点、我々は長い間かけて、2か所に絞ったんですが、当委員会として2か所のうち1か所ということを決める時期じゃないかと思えます。</p> <p>● 今のは市役所に対する意見で、1か所に早く絞ってほしいという、時期に来ているというのは、今の吉岡委員の意見からもはっきりわかると思えます。</p>
<p>森住委員</p> <p>渡邊委員長</p>	<p>● 具体策に入るというのは賛成ですが、渋滞緩和策として、持込車の問題とそれからパッカー車の中継基地をどこかに設けるといってお話をされましたですね。ここでも聞いていますし、やっています。それが聞こえない方がいます。自分の反対の気持ちが強かったら、意見が耳に入らない。そんなことあるでしょ。そういう意味で発言された方には特に確認した方がいいと言ってるんです。道路の緩和策も言ったし、道路問題については言えることはみな言ったんです。しかし、届かない方がおられます。そういう人たちに対して、やっぱり直接会って話した方が、わかりやすくなるということ言ってるんです。</p> <p>● その通りと思います。話はしていますが、確かに具体的に道路については地図が出てきておりますが、中継地点の話や、持ち込みごみの制限はまだ具体的ではないと思えます。事務局には酷かもしれませんが、中継基地、パッカー車の台数問題、市民持込ごみ問題などについて、今すぐ回答しろとは言えないですが、どうでしょう。</p>
<p>吉住部長</p> <p>渡邊委員長</p>	<p>● 10月20日の報告会も、将来的にはクリーンセンターにどれだけ車の台数が集中するのかというご質問がございまして、1日1,350台の車が入りますという説明をしました。その中で奈良市は特異な事例ですが、市民のごみの持込が一日平均520台。特に祝日は市民の持込が1,300台から1,500台ほど入っています。この台数を減らすことができないかということで検討しておりますという回答をさせていただきました。あわせて市長から、他市では、市民からのごみの持ち込みは、一旦別の場所で集積して、清掃工場に搬入するという方法もあるという説明もさせていただき、以前この委員会で4車線化は、費用対効果も含めて整理できなかった中で、この1,350台を何とか減らす方法ということで、ある程度概要を説明させていただいた経緯はありますが、具体的に台数はどの程度減るかという整理をしているところです。概ね半分以下になろうかと。改めて、もう少しわかりやすい整理を進めていきたいと考えています。</p> <p>● 詳細なことも含めて市がまとめてご提案いただけますでしょうか。でないと、次、説明に行きにくいです。今回の報告会での発言の中で、これを機会にステップはどんどん上がっていくと思わないでと。さらに煮詰めた情報をもっていないと、顔を合わせにくい印象だと思います。</p>
<p>渡邊委員長</p> <p>森住委員</p>	<p>● パッカー車は減らしたほうが良いと思えます。ところが市民持込は、非常に悪いものを持ち込むというイメージがあるからわずらわしいですが、成功しているところは、リサイクル可能なものを持ち込んで、ついでに何か買って帰る</p>

<p>渡邊委員長</p>	<p>というところもあるんです。集客効果がありますから、いいわけです。あそこの施設も、単にハード的な施設でお金かけて作ったところで、地域はにぎわいません。集客能力あるような施設を同時に併設する。そうすると、あちこちから、いろんな人が見に行ってくれるような施設のイメージをもたれたら、東部の方もかなり賑やかになります。そういう意味では一日1,350台知れていると思います。駐車場さえ広くとれば問題ないと思う。</p>
<p>A委員</p>	<p>● 今すぐできるとは思えないですが、そういう大きなデザイン。これっていうのは一度にやるのは難しいですかね。少なくとも地点については、今までのことでもありますので、煮詰めていって、他のものについても案といいますか、概念設計的なものは説明していただきたいと思いますが。</p>
<p>森住委員</p>	<p>● 森住さんからご提案ありましたが、過去にはリサイクルに対する関心が、市民には非常に多かったです。でも今は、もうほとんどそれがなくなっちゃいました。できるだけ家庭に持ち込まない。ごみを少なくするという理解の仕方が非常に多くなりました。例えば環境フェスタでは、食器類はタダですが、本当にいいものでないと、持って帰られません。自転車も3,000円くらいで修理したものをお持ち帰りいただきますが、余ってしまいます。それからごみの中で、回収されたものでいいもの、利用価値が高いものについては清掃工場の職員の方が、はねのけて保管していただき、100円市で売っていましたが、今は全然そういう物は発生しませんし、そういう需要環境はありません。</p>
<p>元島委員</p>	<p>● A委員がおっしゃったようなシステムはその通りです。しかし、工夫して集客で成功しているところもいっぱいあります。それはどこがちがうかといいましたら、計画を立てる時に、住民にも参加してもらって、一緒に作っていく。そういうやり方を新たにやっておられます。</p>
<p>渡邊委員長</p>	<p>● 論理がちょっと先に飛んでいるような感じがしますが、10月20日の報告会で、次のステップに進めるための手段をとるのは、この市とこの委員会の方でしょうか。次のステップに入っていくためには、人数を絞った人のところへ、市が考えているランドデザインのようなものも持っていきながら、議論を進めていかないと、止まってしまっていると思いますが。もう時間が切迫してしまっていることは、皆さん重々認識しているわけですから。その方に絞って、話を持っていったらいかがでしょうか。</p>
<p>事務局（村田）</p>	<p>● 次のステップということで、まずは今回の報告会での内容の確認。更には場所を、詳細なところを市の方で決めていただき、それに付随する道路の問題、それから中継地点等の案も含めた車両台数の問題をパッケージにしまして、現地にもっていけるようにして、次の話に持っていきたいと思うわけです。事務局はいかがですか？</p> <p>● 道路の話ですが、部長も言いましたように、1,350台からいかに減らすかということについては、現在検討を進めており、近いうちにある程度まとまると思っています。ただ、どちらかに絞って、そこに何をどう立てていくかという部</p>

<p>三浦委員</p>	<p>分があると、今までから申し上げていますように、地元の方の意見を聞かないことには、前には進めないと思っています。ある程度、意見を聞ける状態になってから具体的に示したい。ただ、大まかな、こういうものはありますという提示は以前からしていますので、このへんに立てたら、緑地帯が設けられますよ、このへんに何らかの施設を建てたら、こういうデザインになりますというものならば示せるかと思います。</p> <p>● 論点がかなり先に進みすぎて、2か所を1か所に絞ってからというのが議題だと思っています。そんな中で、4車線化の問題とか自然破壊という、現地からの声が届いたわけですが、これは環境アセスメントで、全部答えの出るような内容です。環境アセスメントに入りながら、地元の方が心配されていることを、一つ一つ丁寧に結果を出していくというのがベターだと思うんです。絶対地元の合意入れなかったら、この先進めないなら、かなり年月がかかると思います。事務局で、しっかりと前向きな話に持って行っていただきたい。その中で、1,350台からいかに台数を減らすか、中継基地設けるなど、具体的なことは、その後で考えたらいいことです。</p> <p>まずは1か所に絞っていくために、環境アセスメントで皆さんのご心配に対して結果を出していくということを進めていただきたいと思います。</p>
<p>森住委員</p>	<p>● 三浦委員の思っておられる環境アセスメントは、かなり大掛かりなイメージですが、東部の方、それから鼓阪地区の方が、特に環境面で気にしておられることは、大掛かりな調査しなくても、わかりやすい説明の仕方をすれば理解できる論点ばかりです。大掛かりなアセスメントをしなくて、地元の住民の方の不安がとれるような対策を取るという意味でのアセスメントにとらえたほうがいいです。そうすれば、ここで議論して、地元の住民に、こういう所へ行っていただいたらどうでしょうかという形で返すことができます。それが本来の意味のアセスメントです。東部の方を含め、いろんな疑問点を出しておられます。環境面も、渋滞問題も。懸念事項に対して、一個一個丁寧に答えていくという具体的な作業を、行政と私たちが一緒にやっていくという方針で、当面臨んだらいいと思います。場所につきましては、環境面から見ましたら、どちらも変わりません。こっちの方が環境に対する負荷が少ないというようなことは出ません。なぜかと言うと、環境に対する影響は、一つは大気汚染の問題。これは煙突出口の有害物を可能な限り絞っていますから、問題になるほど地上には降ってこない。本当にほとんど問題はありません。これも他市の調査調べたらわかります。そういうことを具体的に示していけば、いわゆる大気汚染面については、どこに建てようがあまり差がないというようなことも出てきます。動植物調査もほぼ場所似ていますから、こっちに造れば希少動物が減ることにならないです。あまり変わらないことになりますから、環境に対するインパクト、影響、という観点から言いますと、あまり差が無いという結果が出てきます。他市でそういう調査をした例がたくさんありますから、場所によらず、</p>

田中（幹）委員	<p>施設さえちゃんと作ると公害環境面のインパクトはほとんど無いことがわかります。それを住民の方にわかりやすく返すことが、私たちの課題だと思っています。</p> <p>● 今日は何をここで議論するんですか。この委員会は、この2か所、これでいかがですかと言ったときに終わりです。その後は調停との約束から言えば、スーパーバイズする。あとは施設が出来るときにはいろんな決定がある。正当に民主的に用地選定とか、住民側に説得して行政が決定するよという委員会です。この委員会は、諮問機関ではありますが、調停に基づく委員会で、いささか性格が違います。行政と協力してやる委員会じゃないです。むしろスーパーバイズするんです。行政がお手上げですというときに、コメントするだけで、協力する委員会じゃないです。正式に市長の方から、もうお手上げだと。この委員会でアドバイスしてくれみたいなことがあれば、しなければならないが、お手上げだという意思表示は無いじゃないですか。</p>
佐藤委員	<p>● 田中幹夫先生のおっしゃるとおりだと思います。ただ、当初の調停条項でいけば、平成23年3月末を目標として、環境アセス手続きを経た上で、建設の用地を確定する。これが現時点で1年8ヶ月も遅れているわけです。調停条項でいうと、新施設の用地確定後、速やかに新施設の建設工事着手となっているはずですが、随分遅れているわけです。市長の方から言われてないから、こちらから言うのも僭越だというニュアンス的なことを言われましたが、まだ決めきれてないわけですから、当委員会として、この2つのうちのこちら側が適切だと思いますという意見は上げたいと思います。</p> <p>今日何をするのかということと言われましたが、私は資料として配られている、公害調停の会の代理人から、奈良市宛の、3回目になる文書と、奈良市長の回答書があるので、これを議論されたら、一番整理されると思うんです。</p>
渡邊委員長	<p>● 佐藤委員のおっしゃるように、意見書をつけて、決めてくださいと。決めるにあたって、この場所でやっていきますということを決めてくださいということを、今日ここで、皆さんの意見の一致が見られれば、それでいいかと思えます。</p>
森住委員 渡邊委員長	<p>● 決めてくださいという提案を出すわけ？</p> <p>● そうですね。今、口頭で言いましたが、決めてくださいというのは、3月にやっているんです。状況を把握するのに、通知書ですか、3回目とおっしゃいましたね。これについて、今一度ここで、再度確認することが大事じゃないかのご発言があったわけです。公開請求ができれば公開することになりますが、当事者両方ともおられますが、双方は公開できますか？ 傍聴の方にもお配りして、お話したらいいかと思いますが。よろしいですか。</p>
事務局（村田）	<p>● 申請人の代理人からいただいている申入書とその回答。代理人の方が出していいということでしたら、配らせていただきます。</p>
森住委員	<p>● もうひとつ、3か寺の住職さんが意見書を出しておられます。これも会場の</p>

<p>渡邊委員長 事務局（村田） 森住委員</p>	<p>方に、こんなのいただいていますということをお伝えしないと、私たちだけが持っている」と誤解されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この分も公開で出されたものですよね。配っていただきましょう。 ● 委員会の方で出すということでしたら、出させていただきます。 ● さっきおっしゃった、決めてくださいと言っても、なかなか決めないと、何か月後かに委員会で決めますと書いたらどうです。
<p>渡邊委員長 森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 用地取得の難しさもあって。 ● 買うのは、市の責任ですから。少なくとも1か所は市有地ですから、買う必要なくて、もう1か所だけになるでしょ。こっちが非常に困難であれば、もうのっけから市有地になります。そういう意味でこっちが1か所に書くと書いたところで、支障無いのと違いますかと言っている。
<p>佐藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 最近になって、大きく前進していますが、尚、相当時間かかりそうな状況にあるので、我々の方として、2か所でも範囲広いわけです。だからこちら側のここあたりで、どうなのかというご意見を、早く上げてもいいと思うんです。私はできれば次回委員会までに、正副委員長を中心に、議論いただいて、次回には、この委員会としては、ここにされたらどうですかというような意見を取りまとめるぐらいのテンポでやってほしいと思います。
<p>渡邊委員長 佐藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務局、よろしいですか。次回、1か所で決めていただく、もしくは、こちら側からもここで決めたらどうかという話で決定するというところで。 ● 奈良市の方がね、今までこれで苦労してきて、奈良市が今の段階で即断できないでしょ。だから我々の方も意見を次回までにまとめましょうと申し上げたんです。だから事務局に意向聞く必要ないです。一つの重要な参考意見として、委員長を中心に取りまとめて、委員会の総意ということでもとまりました。参考として出しますと。次回ぐらいの委員会ではお返しするというので、確認いただけたらどうなのかと思います。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● それがいいと思います。
<p>佐藤委員</p>	<p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 配っていただいた、この書面のやりとりですが、評価できると思うのは。公害調停申請人の会の方から出した文章の中で、2つ大きく言っていますが、建設候補地の地元の方のご理解をいただいた上で、自然環境の現状については調査を実施する旨、述べられていますが、前記の申入れでも指摘したとおり、環境アセス手続きは、住民から用地選定の理解を得た後に行うべきものではなく、同時並行して行うべきものです。という指摘をしていますが、これについて、回答は、あくまで、用地を選定したのちに環境アセスに入るというのにならなくて、変わってないです。ただ、今回の回答の冒頭のところで、ご指摘の通り、アセスメントの実施にあたっては、周辺住民のご理解を得ることは絶対条件ではありません。しかしながら施設稼動に長期に周辺の皆さんとお付き合いをさせてい

<p>渡邊委員長</p> <p>吉住部長</p>	<p>ただくこととなりますので、ご理解を得ておくほうが、円滑に計画を実現するには好ましいと考えております。という言い方で、関係住民に拒否権を与えるものではないということを指摘してきたことについては、認められる。これは大きな一歩ですが、なおやはり、用地選定後でないとはアセスができないということまで言うておられるのは、まだ十分に答えきれてない。これは是非改めていただいて、並行にやっていく必要があるだろうと思っています。</p> <p>● 事務局側からは、この通告書及び回答書について、何かご説明いただくことはありますでしょうか？</p>
<p>渡邊委員長</p> <p>森住委員</p>	<p>● 回答書に書かれているとおりでありますが、特に最初の2行目の中でアセスメント実施にあたっては絶対条件では無いということは、新たに今回付け加えさせていただきました。他市が清掃工場を新たに造るにあたって、アセスメントの実施はどのようにされたかということで、他市の事例を参考にするなかで、アセスメントを進めるにあたって、周辺住民の方の合意文書をいただいて、実施している市町村もございました。現在、木津川市さんが、アセスメントにあたっての同意とか合意を得ずして進められている経緯はございます。ですから、他市いろいろございますが、我々としましては、基本的にアセスメントを進めていくについても、必ず道路を利用したり、もしくは個人の所有地に入らせていただくようなことも出てきますので、周辺住民の方々の、ある程度の理解と合わせまして、将来的に仮に稼働ということになれば、30年近く、清掃工場稼働するにあたりまして、ご理解を得ていくほうが、アセスメント、建設、稼働も含めて、委員会には計画を含めて施工も含めて、実施しやすいのではなかろうかということで、回答させていただきました。</p> <p>● 文章と回答は、その通りかもしれませんが、他市と比べて、緊急性という面ではズバ抜けて高いと感じておりますので、やはりピッチをあげて進めるように、是非ともお願いします。</p> <p>● 三浦さんが、先ほど問題提起されましたが、私が提案したのはアセスメントという言葉を使わないで、住民の懸念されておられる事柄について、私たちが調査した上で、十分な回答をする。それが実質アセスメントです。アセスメントという言葉を使うと、非常に警戒されます。そうではなく、アセスメントする目的は住民の懸念されるいろんな現象が、起こるかどうか確認するためにやるわけで、懸念されて当たり前の話です。その懸念にちゃんと答えようとしなくて、アセスメントすればわかるという言い方をすると疑いを持たれるんです。だから一個一個、大気汚染について懸念されておられるなら、このお寺については、どういう値になるのかということは、ある程度計算でできますから。そういう計算やるのが大事だと言っているんです。</p>
<p>渡邊委員長</p>	<p>● もう一つお配りいただいたもので、三つの寺からの申入書。これは仲川市長宛と委員会の渡邊宛にいただいております。地域、中ノ川と東鳴川、⑥-1、⑥-2と、我々呼んでいたところですが、その選定案撤回の申入れというこ</p>

	<p>とで、いただいております。大気汚染云々の文章では排気ガスのイオンのお話ですとか、酸化性のガスの灯籠などに与える影響などを心配されておられますので、そういったことについては、アセスメントで懸念が払拭されると思います。こういうことに強く関心を持っておられている方が多くいらっしゃるということは、非常に感謝に値することです。吟味して対応させていただきたいと考えています。市長も、何かコメントされているか。もしもことづけ聞いておられましたら、事務局から何かございますか？</p>
<p>事務局（村田） 渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● これにつきまして、特に市長の方から意見等は聞いておりません。 ● 今は特に公式なコメントは無いわけですね。これは私も、宛名で書いていただいておりますので、機会があれば、市長と相談したいと考えておりますので、またお伝え願いたいと思っております。
<p>森住委員 渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 渡邊さん、この回答案作ってきてくれませんか？ ● 今のところはお願ひ申し上げますと書いていたので、文書で回答とまでは書いてないですが、少し待ってもらえませんか？
<p>森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 向こうも真面目に考えておられるでしょ。お坊さんですから。感情的にならないでいいから、かみ合った議論ができると思うんです。積極的に、この場を利用するといいますか、これに対するご意見をどうかと書くという仕方でないかと、この方たちも関心はあるが、ごみ焼却施設の現状について、何も伝わっていないから、非常に悪い物というイメージが強いです。それが新聞記者にやられると、すごいマイナスイメージを与えます。社会的に影響大きいから、私たちがちゃんと、これに対して回答しないと、真面目な意見に回答しないのかとなりますから。これは回答くれと書いてないが、すべきと思うんです。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● わかりました。準備したいと思います。もちろん市長にも相談します。 私がかねがね考えていることがあります。公開の場ではありませんが、現地建替えのことを巡って、左京地域の方と言い合いになることも今までありましたし、必ずしも、絶対持っていくという、強い気持ちでやっているわけではありません。他の地域のことも考えて、なんでこんな不信感のあるようになったんだろうということ、疑問に思いながらやっておりますので、そういったところも、この方々にお伝えできたらと思っております。そういったスタンスで用意したいと思っておりますので、予めお断りしたいと思います。 今日は、用意していただいたのはこれぐらいですかね。 次回ですが、私たちも、事務局と相談しないといけないこともありますので、1月17日でよろしくお願ひします。終わりますでしょうか。
<p>事務局（美馬）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 皆様方には長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございました。次回の策定委員会は、1月17日です。それでは本日は、これをもちまして閉会とさせていただきます。